

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2019No.156】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ドヴォルザーク他

曲：ユーモレスク他

演奏：ソフィア・ゾリステン／リヤ・ペトロヴァ(Vn)

発売：ABC 放送

No.：ABC-SH9800

概要：

ソフィア・ゾリステンの演奏会で求めてきた名曲の花束と題した CD です。



収録曲：

1. ドヴォルザーク：ユーモレスク (3：34) Dvorak：Humoreska
2. マスネ：タイスの瞑想曲 (5：29) Massenet：Thais Meditation
3. ボッケリーニ：メヌエット (3：46) Boccherini：Menuetto
4. J.S.バッハ：アリア (G線上のアリア) (5：56) J.S.Bach：Aria (Air)
5. ハイドン：セレナード (3：54) Haydn：Serenade
6. シューベルト：アヴェ・マリア (4：57) Schubert：Ave Maria
7. チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 op.48～第2楽章「ワルツ」 (3：50) Tchaikovsky：Serenade for Strings in C major op.48～2nd movement 'Waltz'
8. ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「春」op.8-1 第2楽章 (2：39) Vivaldi：Spring from 'Four Seasons' op.8-1～2nd movement

9. パッヘルベル：カノン (4 : 49) Pachelbel : Canon
10. シューベルト：楽興の時 D.780～第3番 へ短調 (1 : 57) Schubert : Moments Musicaux D.780～No.3 in F minor
11. モーツァルト：セレナード 第13番 ト長調 K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」～第1楽章 (5 : 54) Mozart : Serenade No.13 in G major 'Eine Kleine Nachtmusik' K.525～1st movement
12. 山田耕筰：赤とんぼ (2 : 21) Kousaku Yamada : Akatonbo
13. J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ (3 : 52) J.S.Bach : Jesu, joy of man's desiring
14. J.S.バッハ：幻想曲とフーガ ト短調 BWV.542 (11 : 37) J.S.Bach : Fantasia and Fugue in G minor BWV.542

演奏：

<指揮 Conductor>

プラメン・デュロフ Plamen Djouroff

<ヴァイオリン Violin>

リュドミール・ネンチェフ Ludmil Nentchev

ディミタル・ダンチェフ Dimitar Dantchev

エミール・ボシェフ Emil Boshev

ペテル・ガネフ Peter Ganev

ディミタル・ゲオルギエフ Dimitre Gueorguiev

ニコラ・ニコロフ Nikola Nikolov

ニコライ・ヤナキエフ Nikolay Yanakiev

イエチコ・ベトウフ Jetchko Petkov

<ヴィオラ Viola>

オグニアン・コンスタンティノフ Ognian Konstantinov

ルボミール・ミツツェフ Lubomir Mitzhev

トドール・ミトロフ Todor Mitrov

<チェロ Cello>

シメオン・スタイコフ Simeon Staykov

トドール・ゲオルギエフ Todor Gueorguiev

<コントラバス Contrabass>

ツヴェトミール・ラザロフ Tzvetomir Lazarov

ネット上で得られた解説は以下のとおりです。

「ソフィア・ゾリステン

歴史と伝統を誇る、ブルガリアを代表する弦楽オーケストラ。1962年、作曲家でありブルガリア放送交響楽団の指揮者ヴァーヅル・カザンジェフを創始者として結成。ソ

フィア国立歌劇場管弦楽団のソリスト・クラスの精鋭を集めて組織され独立した団体として活動を始めた。

レパートリーはバロックから現代まで 400 以上を誇り、これまでにヨーロッパをはじめ、ロシア、南北アメリカ、オーストラリア、中国、韓国、日本など広く国際的に活躍。ドイツ、フランス、スペイン、イタリアなどで数多くの国際音楽祭にも出演し、由緒ある音楽祭で栄誉ある賞に輝いている。1972 年には、その功績に対して「ディミトロフ賞」（国民最高栄誉賞）が授与されている。録音も 60 タイトルを超え、ビクター、コロムビア、ハルモニア・ムンディ、SABA、バルカントーン、Gega などからリリースされ、TV やラジオの出演や映画音楽の収録なども世界各地より依頼が相次いでいる。また、ブルガリアの著名な作曲家によって書かれた 60 曲以上の初演も行っている。

指揮者は 1988 年以降 3 代目としてプラメン・デュロフに引き継がれ、広く国際的に活躍している。

プラメン・デュロフ

1949 年生まれ。指揮者、作曲家。ソフィア音楽アカデミーでピアノをマラ・バルサモヴァ、作曲をマリン・ゴレミノフ、指揮法をコンスタンチン・イリエフ、ウィーン音楽アカデミーにおいてカール・エスタライヒャーに師事。

ブルガリアのプレーベン交響楽団で指揮者として活動を開始し、1988 年よりソフィア・ゾリステンの指揮をとっている。これまでに、ドイツ、ベルギー、イタリア、ハンガリー、ロシア、ポーランド、チェコ、スロヴァキア、メキシコ、キューバ、韓国、日本など 30 ヶ国以上で指揮をとっている。

その功績に対し、ブルガリアの芸術、創造分野において名声あるナショナル・アワードを獲得している。

現在ソフィア音楽アカデミーで後進の指導にもあたりブルガリア音楽協会会長も務めている。巧みな表現で名曲に新たな命を吹き込む指揮ぶりで多くのファンを持つ。」さらに、ソフィア・ゾリステンについては下記に紹介があります。

<https://www.asahi.co.jp/event/hanataba/>

収録曲には、演奏会で演奏された曲も多く含まれています。

演奏会の印象そのままに、完璧なアンサンブルで美音を奏でてくれます。印象としては、これ以上、求めることができないレベルの贅沢な BGM と言えます。

以上